

「環境報告書 2018」を 公表しました



このコーナーでは、水資源機構の
環境保全の取り組みを紹介します。



水資源機構
環境報告書 HP

水資源機構では、平成29年度における環境保全の取組を取りまとめた「環境報告書2018」を公表し、水資源機構のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



「環境報告書2018」の表紙

環境報告書二〇一八の概要について

「環境報告書二〇一八」では、平成二十九年の水資源機構における環境保全の取組の基本姿勢、これを踏まえた環境保全の取組の計画を示し、この計画に基づく環境保全の取組状況を記載しています。

平成二十九年に実施した環境保全の取組として、建設事業での希少動植物の保全対策や、管理施設における貯水池の水質保全対策などのほか、特集記事として、環境影響評価法に基づく環境影響評価の手続きを経て、工事の最盛期を迎えている小石原川ダム建設事業（筑後川水系）の環境保全の取組について紹介しています。小石原川ダムでは、有識者の指導・助言を得ながら、工事や調査の受注業者も含め関係者が一丸となって環境保全に取り組んでいます。このほか、地球温暖化対策、再生可能エネルギーの活用、環境学習会・研修、各種イベントや森林保全活動を通じた水源地や下流地域との交流など様々な取組についても写真や図を用いて分かりやすく紹介しています。

皆様からのご意見、ご感想を

お待ちしております

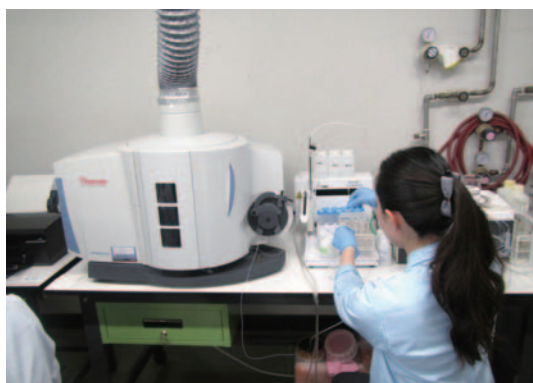
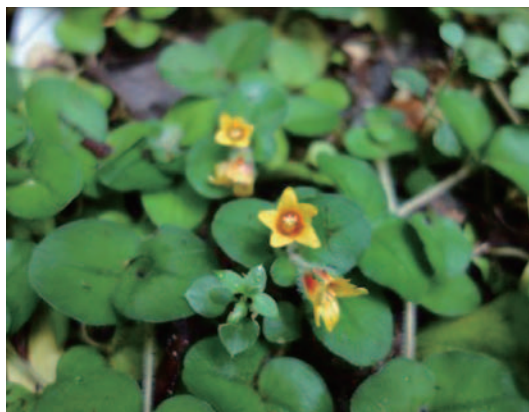
より良い環境報告書の作成に向けて

水資源機構では、環境報告書に対する学識経験者のご意見や読者アンケートによる皆様からのご意見・ご感想等を今後の報告書の作成に反映し、内容の一層の充実と水資源機構への信頼性の向上に努めていくとともに、これからも積極的に環境保全に取り組んでまいります。読者アンケートについては、はがき、FAX、メールによりご回答いただけますので、ぜひご協力をお願いいたします。

（詳細は水資源機構のホームページをご覧ください。）



貯水予定区域周辺に生息するクマタカと移植した植物（オニコナスビ）
（小石原川ダム建設事業）



重金属の水質分析の様子（草木ダム）



地元小学生と協働した河川堤防の清掃活動（木曾川用水）